

はじめて野あそびクラブ

趣旨 はじめての野あそびを通して、自然や環境への理解を深めるとともに主体性や社会性、自己肯定感を育む。

企画運営のポイント 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から必要以上に多くの人と関わることがないように、家族単位で活動できるプログラムを基本とした。募集定員は、10家族程度とし密な空間を作り出さないように配慮した。対象の子どもの年齢幅が広いため、タイムスケジュールに余裕を持たせ、家族毎のタイミングで自由に遊べる場づくりを意識した。

募集対象 ひだか野あそび会員に登録した、幼児～小学1年生の子どもを含む家族



【日程・参加人数】

- ①6月26日(土) 9家族 26人
- ②6月27日(日) 10家族 36人

【内容】

火おこし、たき火、プレーパーク遊び

【日程・参加人数】

- ③ 7月10日(土)～11日(日) 14家族 48人
- ③-2 7月17日(土)～18日(日) 9家族 34人

【内容】

テント泊、沢遊び、たき火、プレーパーク遊び

【日程・参加人数】

- ④8月21日(土) 10家族 33人
- ⑤8月22日(日) 10家族 31人

【内容】

魚釣り、プレーパーク遊び、川遊び、アイスクリーム作り

【日程・参加人数】

- ⑥10月23日(土)～24日(日) 10家族 37名

【内容】

落ち葉で焼き芋づくり、焚火café、ジャックオーランタンづくり、ピザづくり、プレーパーク遊び



【成果】

- ・コロナ禍における外出自粛疲れの中、子どもを含む家族のリフレッシュの機会となった。
- ・タイムスケジュールに余裕を持たせることによって「家族での自由な時間が多くありよかった。」や「子どもがまだ小さいですが、楽しく過ごせました。」などの評価を得た。

【課題】

- ・毎回多くの申込をいただいているものの、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて参加家族数を設定しているため、参加いただけない家族が多数いる。感染症対策を取りながら、より多くの家族を受け入れられるような開催形態や開催回数等を検討する必要がある。